

地域ボランティア等からの家庭教育支援が必要であり、そのための団体育成支援やNPO立ち上げ支援等を行うべきと考えるがどうか。

【答弁】 すでにボランティア養成講座を行っている区もあるが、地域の皆さんの力も借りて取り組みたい。

【質問】 学校給食センター等の現状はどうなっているか。また、センターの統合等は考えているか。

【答弁】 水沢区は自校方式とセンター方式、他の区はセンター方式。統合については、傷んできている施設もあるので考える必要がある。

【質問】 給食費の統一によって、日数、質の低下はないか。また、学校給食の内容等の検討は行われているか。

【答弁】 区によって給食費が違っていたが、公会計になることで統一される。質の低下にならないようにしたい。外部の方も入った運営協議会で検討を行っている。

産業経済部門

【質問】 新岩手担い手支援総合対策事業は担い手や集落営農等の施設、機械等の整備に欠かせない補助事業と思います。どの程度の要望があり、どんな状況なのか伺います。

【答弁】 農協等を通して希望をまとめたところ40〜50程度の要望があります。しかし県では半分以上に削減し実施されているところがあります。さらに県では国の動向との関連で見直しを検討されていると聞いております。

【質問】 平成19年度から水田農業推進協議会が行政から離れることになるそうですが、今後の対応はどのようになりますか。また、土地条件などから、水田協からの産地づくり交付金などの恩恵を受けられない地帯では、今回の方針転換によって従来のような転作への協力が得られなくなるのではないかと思います。伺います。

【答弁】 水田協は行政主体から農業団体等が主体となつて運営され、米の生産調整等を行なう事になります。行政としてはただ単に眺めると言うことではなく、直ちに手を離すと言うことをしないで一定の指導なり、協力をしていきます。転作への協力は引き続きお願いしていきます。

【質問】 街づくり三法の改正に伴う中心市街地活性化基本計画の策定について、どのような考え方で検討がなされているのか伺います。

【答弁】 昨年10月策定委員会を立ち上げ現在、事務段階で検討中で

す。まずは既存の事業を掘り起こし計画策定に結びつける取り組みをしています。

中心市街地のあり方については全市的な立場から検討をし、実効性の確保や総合計画、都市計画との整合性をとることも配慮し作業を進め、郊外と市街地の調和を図る身の丈に合った現実的な対策を構築していきます。

【質問】 水沢農業公社が運営する花卉育苗センターの運営内容はどうなっていますか。厳しい経営状況であれば、民間委託など抜本的な対策が取れないか伺います。

【答弁】 市街地の全市公園化構想のもと平成12年設立されたものです。価格的にも販路の問題でも安定せず市から運営費の補助を受けています。行革の立場もありこれまでの取り組みにこだわらず対応したいと思っています。

都市整備部門

【質問】 道路使用料について、これからの見直しはあるのか伺います。

【答弁】 今のところ大きな見直しは考えておりません。国の定める基準に従っており、見直しについては国・県と協議し、今後検討してまいります。

【質問】 河川草刈機の導入について

と考えているか伺います。

【答弁】 皆さんの協力で実施してきたが検討している。リモコンで動く機械もあるので単費であるが検討してまいります。

【質問】 久田前田中線^{きゅうだまへだちなかぜ}について大型事業であるが必要はあるいは見直しについて伺います。

【答弁】 地域協議会で決定している本路線は新市建設計画の中で重要である。この実現は早く求められており、変更は今のところ考えていませんが見直し等については今後検討すべきで慎重に対応してまいります。

【質問】 江刺藤原の郷の今年の経済効果について伺います。

【答弁】 平成17年は24万人、平成18年は9万8千人と激減しています。普段のイベント・通年を通してのPR、世界遺産との絡み等、費用対効果も含め力をつけていく必要があると思っています。

【質問】 羽田地内で交通事故があったがこれらへの対応について伺います。

【答弁】 非常に残念なことです。ご指摘の交差点については平成19年度に信号機と横断歩道を設置することになっています。交通安全については今後とも引き続き対策に万全を期してまいります。